

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	24-1
PDCA	主要事業名	亀崎地区無電柱化等整備事業	部課名	建設部都市計画課	担当	川村	
					内線	443	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 2 単位施策： 景観・公園 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 8 年度 全体事業費等： 1,013,278 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.05.05.02.54						
	事業概要等	事業概要： 景観形成重点地区であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートである亀崎仲町通りを無電柱化し、景観に配慮した道路整備を実施する。					
		事業目的： 景観形成重点地区として相応しい景観形成を推進する。					
		事業内容： 亀崎仲町通りの無電柱化に向けた整備工事を実施する。					
		問題点： 無電柱化の実施に際して、電線管理者や地元住民の合意形成が必須である。 課題等：					
	予算額	主要事業とする理由					
	129,813 千円	ユネスコ無形文化遺産に登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートが無電柱化することで、亀崎仲町通りの景観形成を図るため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	景観形成重点地区であり、亀崎潮干祭（ユネスコ無形文化遺産）の山車の運行ルートでもある亀崎仲町通りの良好な景観形成が図られる。					
	58,863 千円						
	国費						
	70,950 千円						
	県費						
	0 千円						
	その他						
0 千円							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					
	129,688 千円	亀崎仲町通りの良好な景観形成を図るため、電線共同溝工事に着手し進捗することができた。					
		成果指標					
						令和5年度	単位
	無電柱化事業の進捗率	実績値	14.5		%		
		目標値	14.5		%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 電線管理者の協力や地域住民の理解を得ながら、令和8年度の完了に向け、引き続き工事を進めていく必要がある。					
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 令和8年度中の工事完了を目指し、電線管理者の協力や地域住民の理解を得ながら、計画的に事業を進める。令和6年度も引き続き電線共同溝工事を進めていく。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用